

2003年1月18日



角永和夫氏の作品「Glass No.4 I、1999」

- アンマリステイリオンによる写真 the Northwest Asian Weekly

Big glass

By Ann-Marie Stillion

グレッグクセラギャラリーの巨大な緑色のガラスグローブは、木製の床の上に浮かんでいるように見えますが、それぞれが1メートル四方の真っ白な台の上にあります。それらが形が似ているのは、アーティストがそのように「作った」からではなく、ガラスが特定の条件下でどのように機能するかをテストするための環境を構築したからです。

30年以上にわたり、コンセプチュアルアーティストの角永和夫は、何かを最小限に抑えながら素材を操作しながら、同時に新しいものを作り出すという、非常に情熱を傾けてきました。そのため、彼は1つのプロジェクトで巨大な丸太を紙のように薄く切りました。別のプロジェクトでは、彼は何万ものカイク

を巨大な木材のマトリックスで働くように設定しました。彼はさまざまな素材やアプローチを使用していますが、それでも彼が作成する各作品には共通点があります。木、竹、シルクやガラス、彼は化学、科学者やビルダーとしての工学と媒体の生物学教育と伝統が最も重要であると考えられている日本から独学したアーティストである角永は、自身の挑戦を生み出す能力を証明しました。

時々彼の興味は彼に単純な木彫りを作るように導いた。

また、クセラギャラリーの作品の場合の

ように、彼は何年にもわたって、異常な状況で何かがどのように反応するかを自分で簡単に見つけるためのアイデアを追求しています。この例では、彼は一般的な緑色のガラスを使用しています。

15年前、彼はガラスについて何も知らず、日常のガラスや皿を作る工場を訪れました。彼はオーナーに最大のガラスを可能にしたいと言いました。「大きなガラス」彼は笑いながら腕を宙に投げた。工場は彼にやりたいことは不可能だと彼に言った。

しかし、彼が考えていた規模の機械と方法が存在しなかったからといって不可能だったため、彼は実験を始め、最終的に5年前に彼の最初の大規模な作品に至りました。

クセラギャラリーの隅にあるビデオデモンストラーションでは、ガラスがどのように見える形になるかを示しています。

2階建てから30時間以上、常に熱いガラスが注がれ、ガラスの破片が15分ごとにかけ混ぜられてか

まどに注がれます。数日後、最大サイズに達し、冷却プロセスが開始します。アートワークの温度をゆっくり下げて、アートワークが崩壊したり、割れたりしないようにするには、3か月以上必要です。

3000ポンド以上にもなるガラスの重さを追求するため、角永は元石工場を改修し、生まれた日本海に近い小さな町鶴木町にカスタムスタジオを作りました。そこで、彼の父と祖父は家族の製材業を営んでいました、そして、彼は彼らの足跡をたどるはずでした。

彼は私が笑わずと前から腕を宙に投げていると私に言った。工場は彼に何をしたいのかを不可能だと彼に言った。

しかし、彼が考えていた石灰の機械と方法が存在しなかったからといって不可能だったので、彼は実験を始め、最終的に5年前に彼の最初の大規模な作品に至りました。

クセラギャラリーのコーナーでは、ビデオデモでガラスがどのように見える形になるかを示しています。2階建てから30時間以上、常に熱いガラスが注がれ、ガラスの破片がガラスに注がれるたびにシャベルがかけられますが、彼は家族の森から巨大な丸太を持ち帰り、それらが崩壊する様子を観察し始めました。彼の家族は当然、それは材料の無駄だと思っていました。

しかし、角永は丸太の特性を探求することに非常に興味があり、その経験を他の人と共有しようと思いました。彼はかつて、ギャラリーの訪問者を丸太でいっぱい部屋の中央に座って、丸太が乾いている音を「聞く」ことができるようにして、丸太をパフォーマンスに変えました。

日本の工芸の骨の折れる細心の世界で育ったことは、彼にいくつかの隠された方法で影響を与えたかもしれませんが、芸術家は伝統工芸にほとんど関心がないと主張します。彼は問題を提起し、聴衆を驚かせるプロセスをセットアップしようとしています。

先週シアトルのスマスペースで行われたアーティストのディスカッションでは、陶芸家のパティ・ワラシナが聴衆の中にいた。彼女が彼の作品を見たのはこれが初めてであり、彼女は自分自身に興味をそそられ、喜ばれていました。

樹皮を二分した30フィートの丸太のように見えるものは、ギャラリースペースを二分します。約1,000層にスライスされているとのこと。

「これは本当にすごい。紙のような丸太。触ったことがありますか。とても薄いので、まるで紙のようになります」とワラシナは驚嘆しました。

「それは素晴らしいショーです。もう一度見直す必要があります。美的美しさの純粋な側面からそれを評価することができますが、彼は彼のプロセスの別の側面を追加します。」

彼女はまた彼の作品は間違いなくアジアの視点であると指摘している。「これは西洋ではない」と彼女は言い、スマの天井まで上がる長い湾曲した竹の壁に向かって手を振った。

実際、角永の細心の注意を払ったプロセスへのアプローチと、独自の方法で自然を理解したいという独特の願望が、彼の作品を米国とヨーロッパの最も優れた美術館のいくつかに集めてきました。彼は、ガラス相以来、日本の聴衆が本当に彼の芸術に真剣に従事するようになったのは今だと述べた。

ソルトレイクアートセンターのディレクター、リック・コリアーがシアトルに来て、スマスペースに作品を設置しました。

コリアー氏は、「ログからオブジェクトを作成しないことに本当に興味があります。ログからプロセスを作成することに興味があります。識別可能なものを取り出して、識別可能なものを通過させて、自然な類似性が何であるかを調べたいと考えています。あります。」

若いアーティストとして、角永は絵を描き始めました。しかし、アメリカのコンテンポラリーコンセプチュアルアートを見た後、彼は自分が本当にやりたいことを知っていたと言いました。彼はドナルドジャッドやカールアンドレスのようにコンセプチュアルアーティストになることを決めました。彼の夢は、「アメリカ人のアーティストが真似できないこと。アメリカ人のアーティストが決してできないこと」をアートにすることです。

反乱と境界の拡大は、さらに大きな炉を構築し、最終的には可能な限り最大規模のガラス片の生産につながるプロセスを作成するという彼の最新のプロジェクトにつながりました。

彼は、日本の美術館が次の一連のガラス実験から購入し、さらに素晴らしいサイズに成長するかもしれないと説明しています。彼は彼のスタジオで3つの煙突を構築し、2番目と3番目はより大きなガラスを作るために必要なお金を待っています。

「角永和夫：彫刻」は、シアトルの212 Third Ave. S.にある、グレッグクセラギャラリーで2月1日まで公開されます。また、「ピュア・フォーム：角永和夫によるインスタレーション」では、4月11日までシアトルの2324 Second Ave.にあるスマスペースを公開しています。クセラでの展示の詳細については、206-624-0770に電話するか、www.gregkucera.comにアクセスしてください。スマでの展示の詳細については、206-256-0809に電話してください。

アンマリースティリオンは annmarie@nwasianweekly.com で連絡することができます。